

校内紹介



教室

校舎の70%に道産材を使用しています。



廊下



生徒会室



生徒ロビー

中高一貫教育とは

中高一貫教育は、平成11年4月から制度化され、これまでの中学校・高等学校に加えて、6年間の一貫教育も選択できるようにすることで、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育の実現を目指すものです。

中高一貫教育校は、連携型、併設型、一体型（中等教育学校）の3つのタイプがあり、現在、全国で197校が設置されています。うち、中等教育学校は27校（国立2校、公立15校、私立10校）あります。

北海道登別明日中等教育学校は、都道府県別（公立）では、宮崎県、福岡県、兵庫県、愛媛県、東京都などに続き、全国で9番目（16校目）の設置です。

公立中等教育学校の入学候補者（前期課程）は、学力試験を行わず、面接や実技、推薦、抽選などの方法を組み合わせて決定します。

中等教育学校のメリット

◎安定した学校生活

高校入試の影響を受けずに、安定した環境の下で、6年間の学校生活を送ることができます。

◎継続性ある教育指導

6年間の計画的・継続的な教育指導の展開で、効果的な教育が可能になり、確かな学力を身に付けることができます。

◎伸ばせる個性・才能

6年間の計画的・継続的な学校生活で、個性の伸長や優れた才能の発見が一層可能になります。

◎豊かな人間性の育成

学年の異なる生徒同士が、共通の活動を通して社会性や豊かな人間性をはぐくむことができます。

これまでの学校との違い

